学校番号	325

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	「図説新日本史通覧」　（帝国書院）、ポテンシャル日本史＆用語 BestSelect２０日（山平商会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古代から現代までの通史を学ぶこと（３年生は近世から現代）で､伝統や文化に対する認識を深め､国際社会の中の日本についての理解を深める。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち､政治､経済､社会､文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握させる。	各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深めることを重視している。	諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付け、歴史的な思考力の育成を図る。	国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う
評価方法	・平常の授業に取り組む姿勢 ･教科書の他､副教材として資料集など忘れずに持ってきているか ・課題やレポートなどの提出物は期日や分量を守れたか	・定期考査の結果 ・発表の状況などを評価の対象とする ・自分の視点で考察できたか	課題やレポートなどの提出物 ・自分の視点で考察できたか ・丁寧に書くことができたか	「歴史の論述」レポートの提出や発表を行う。 ・自分の視点や考察した考えをまとめて表現できるよう念頭に置いて学習したか

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅲ部 近世	**第6章　幕藩体制の確立** 1. 織豊政権 ヨーロッパ人の東アジア進出, 織豊政権の特色の考察 2. 桃山文化 桃山文化を代的背景を踏まえて考察 3. 幕藩体制の成立 江戸幕府成立と幕藩体制の確立過程の考察、鎖国政策の影響との考察 4. 幕藩社会の構造 幕藩体制確立期の経済・社会を多面的・多角的に考察。 **第7章　幕藩体制の展開** 1. 幕政の安定 江戸幕府の安定期平和と秩序の確立を考察 2. 経済の発展 安定期の農業・商工業などの発展と社会的役割の考察。 3. 元禄文化 町人の台頭や幕藩体制の安定との関連を理解 **第8章　幕藩体制の動揺** 1. 幕政の改革 農村や都市の変容, 幕藩体制の動揺、改革の意義と察。 2. 宝暦・天明期の文化 洋学や国学の確立, 文学・芸能・美術の展開を考察 3. 幕府の衰退と近代への道 欧米諸国のアジア進出と国際情勢の変化を考察 近代化の基盤の形成を産業経済・軍事面に着目し考察 4. 化政文化 江戸後半の文化を様々な要素に留意し考察。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

2学期	第Ⅳ部 近代・現代	**第9章 近代国家の成立** 1. 開国と幕末の動乱 明治維新の過程の考察 2. 明治維新と富国強兵 新政府の制度改革，富国強兵・殖産興業政策、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 3. 立憲国家の成立と日清戦争 自由民権運動と立憲国家の成立、近代国家の基盤が形成過程を考察 東アジア国際環境変容を背景に、不平等条約の改正交渉，日清戦争の過程を考察 4. 日露戦争と国際関係 日露戦争の経過，日本の国際的地位と植民地支配，桂園時代までを政党と藩閥関係から考察 5. 近代産業の発展 日清・日露戦争前後の資本主義国家の基礎確立考察 6. 近代文化の発達 近代文化の特色を政治・経済・外交の視点から考察 **第 10 章 二つの世界大戦とアジア** 1. 第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦前後の政治の動向、政党政治の発展を考察。 2. ワシントン体制 ワシントン体制に至る協調体制の進展と日本を考察 3. 市民生活変容と大衆文化 大衆社会成立と市民文化の特色について考察	○

3学期	第Ⅳ部　近代・現代	4. 恐慌の時代 戦後恐慌から昭和恐慌の経済の動揺、社会主義運動の高揚、国家主義の台頭、軍部の政治的進出、協調外交の挫折の過程を考察 5. 軍部の台頭 軍部の政治進出、政党内閣の崩壊、国際的孤立の考察 五・一五事件～二・二六事件，軍部の影響力の増大を考察 6. 第二次世界大戦 アジア太平洋戦争の過程、国民生活の変化、全体主義的な国家体制の進展の考察 第二次世界大戦の惨禍に着目し、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性の認識 **第 11 章　占領下の日本** 1. 占領と改革 戦後の世界秩序、占領政策、民主化政策と諸改革を考察 戦後政治集大成となる日本国憲法制定の意義を理解 2. 冷戦の開始と講和 日本の独立の意義を考える。 日本占領の終結後の日米関係の継続を様々な国の立場から考察。 **第 12 章　高度成長の時代** 1. 55 年体制 55 年体制の成立と保守政権確立の経過を考察 日本が国際社会復帰、国際連合加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係、独立回復後の日本の動きを考察する。	○

3学期	第Ⅳ部　近代・現代	2. 経済復興から高度成長へ 経済復興と高度経済成長、消費革命と経済成長のひずみを考察 **第 13 章　激動する世界と日本** 1. 経済大国への道 高度成長時代、その終焉など、経済大国日本の状況を多面的・多角的に考察する 2. 冷戦の終結と日本社会の変容 日本の政治・外交・経済・生活・文化面を環境・エネルギー問題なども踏まえ、多面的・多角的にとらえる	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。